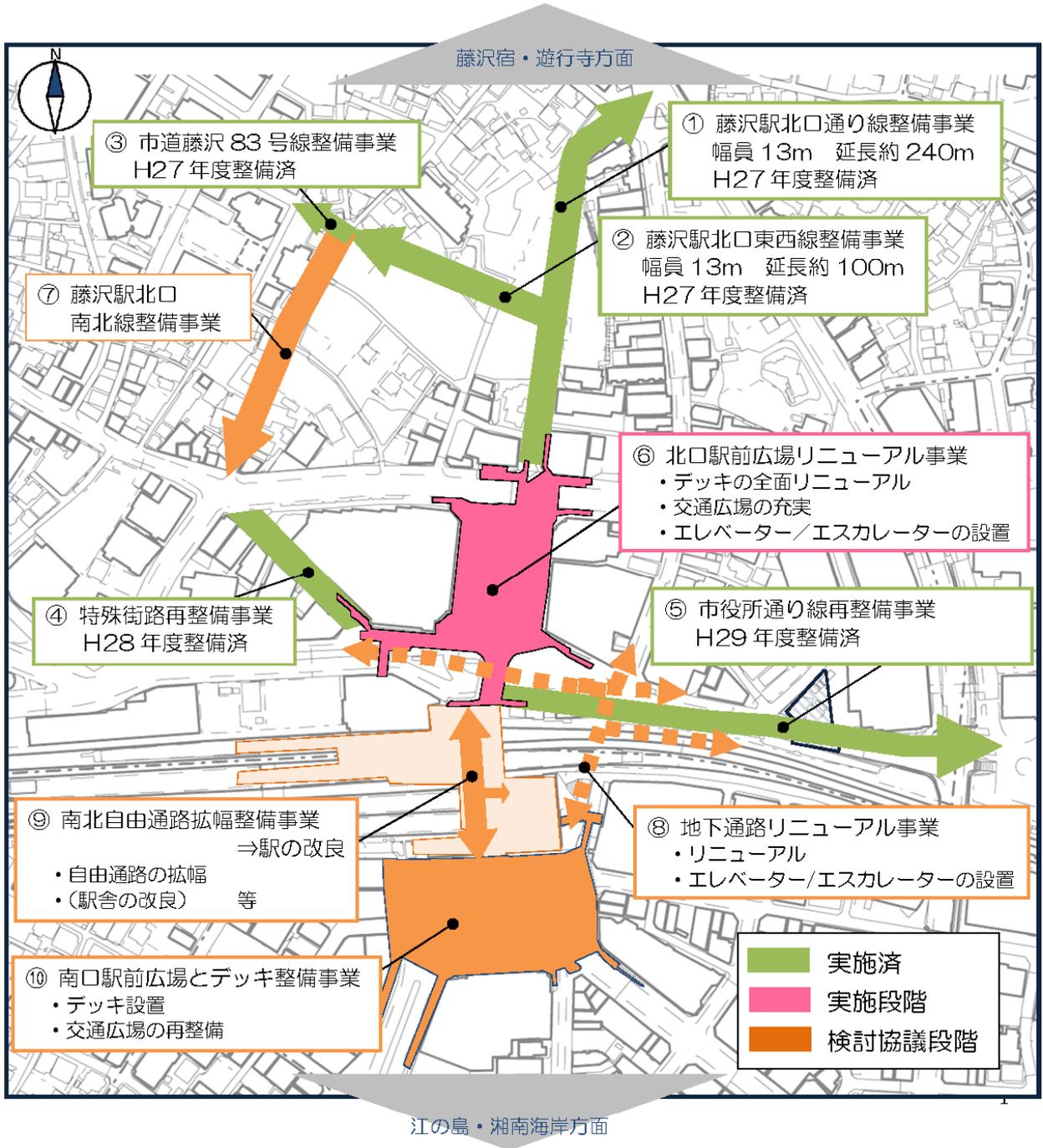


藤沢駅周辺地区再整備事業の進捗状況について

1 藤沢駅周辺地区再整備事業について

(1) 進捗状況



(2) スケジュール (予定)

ア 実施段階

年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
⑥ 北口駅前広場リニューアル事業									
デッキリニューアル			■						
交通広場リニューアル				■	■				

イ 検討協議段階

年度	H29	H35	H40
⑦ 藤沢駅北口南北線整備事業	■		
⑧ 地下通路リニューアル事業	■ (東西方向部分)	■ (南北方向部分)	■
⑨ 南北自由通路拡幅整備事業	■		
⑩ 南口駅前広場とデッキ整備事業	■	■	■

南北自由通路の事業期間が未定のため変更可能性あり

<凡例> 検討・調整 ◻ 設計 ◻ 工事 ■ 東京利光のバリアフリー

2 北口駅前広場リニューアル事業について

(1) 事業概要

藤沢駅北口ペDESTロリアンデッキ再整備工事は、平成29年度から既存の構造躯体を活かし、バリアフリーへの対応などを図るとともに、藤沢駅周辺の再活性化に向け、にぎわいや交流、憩いを育む空間づくりを目的としたリニューアルを実施しています。

また、デッキ下部の交通広場の再整備工事については、平成30年度に設計を行い、平成31年度末の完成予定です。

<完成イメージ>



(2) 工事概要

工事名：藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ再整備工事

工事費：1,941,624,000円【継続費総額】

工期：平成29年9月5日から平成31年12月13日まで（2年3箇月）

施工者：熊谷組・田中建設工業・山藤建業共同企業体

〈主な工種〉

◎ペDESTリアンデッキ再整備総面積 A=約4,700㎡

○舗装面積 セラミックタイル舗装 A=3,800㎡（内 階段部550㎡）

ウッドデッキ舗装 A=690㎡（ガーデンテラス・待合せ広場他）

人工芝舗装 A=235㎡（ガーデンパーク）

○ガラス高欄工 L=176m（デッキ南側及び北側）

○多柵式高欄工 L=333m（一般部）

○エレベーター設置及び改良工 3基（13人乗り）

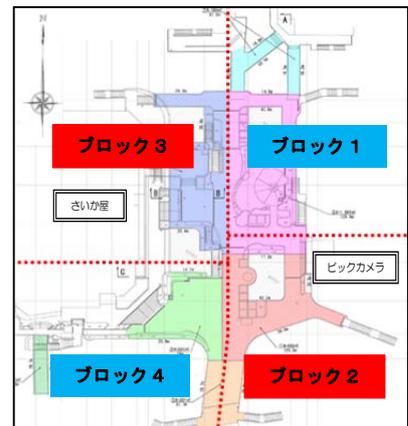
○エスカレーター設置工 1基（幅600mm1人乗り・上下）、上屋あり

○補修工 一式（ひび割れ、断面修復、剥落防止、塗装塗替等）

(3) 工事工程

年月日 工種	平成29年				平成30年												平成31年											
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ブロック1																												
ブロック2																												
ブロック3																												
ブロック4																												

計画工程表



工事ブロック図

(4) 工事の進捗状況

現在、工事ブロックごとに仮囲いを行い、主に既存施設の撤去工を行っています。今後はデッキの補修工に着手する予定となっています。



ブロック3の施工状況



工事のイメージアップの取組状況

3 南北自由通路拡幅整備事業について

南北連携強化等による市民等の利便性・回遊性向上及び街の活性化を目的として、南北自由通路拡幅及びそれに伴う駅舎改良を実現するために、東日本旅客鉄道(株)、小田急電鉄(株)と市の三者で協議を継続して行っています。

平成27年度・平成28年度で、計画案や施工計画の作成、概算工事費や工期等を算出する「調査設計」を実施しました。調査設計結果では、市、鉄道事業者の総額の概算事業費として約330億円、工事期間については最長で約7年8箇月と算出され、これに設計期間等を含めると約10年程度の事業期間と想定されます。

平成29年度は、この調査設計結果を踏まえ協議を行いました。一部プランの見直し等に向け再検討が必要であることから、事業のスタートとなる三者による基本協定の締結を見送ることとしました。

平成30年度は、小田急電鉄(株)とは一定の合意が得られる状況にあるため、事業実施に向けた基本協定の締結を二者で先行して行い、基本設計に着手します。一方、東日本旅客鉄道(株)とは一部プランの見直しとなる調査設計の修正を実施し、概算事業費の圧縮や事業期間の見直しの検証を行った上で、早期合意に向け協議を行います。その後三者での基本協定締結を目指します。

4 南口駅前広場とデッキ整備事業について

南口駅前広場の再整備については、南北自由通路や駅舎等と一体的な空間として双方の調整が図れるよう検討を進めています。

平成29年度は、南口駅前広場やデッキのあり方、再整備の方向性等について、多様な意見を反映するために、「藤沢駅南口駅前広場等あり方検討会議」と「藤沢駅南口交通広場調整会議」の2つの検討組織を立ち上げ、意見交換等を行っています。

併せて、藤沢駅利用者の意見を把握するために、利用者を対象に南口駅前広場及び地下通路に対するアンケート調査を実施しました。

南口駅前広場及び地下通路に対するアンケート調査

ア 配布日	平成29年11月26日(日)、30日(木)
イ 配布時間	7時~19時
ウ 配布箇所	6箇所(南口デッキ上、デッキ下、北口地下通路)
エ 配布数	8,000票(各日4,000票)
オ 回収率	約38%(3,034通)

主な意見として「雨の日も含めて歩きやすい」「明るい」等を評価する一方、「エレベーター・エスカレーターがない」「休める場所がない」等の課題も多くあげられています。

平成30年度は、いただいた意見・提案やアンケート結果等を踏まえ、基本計画の策定を目指します。

5 にぎわい・交流及び魅力づくりに向けた取組について

(1) サンパレットにぎわい創出社会実験

さいか屋西側の自転車歩行者専用道では、藤沢駅前の交流や憩い、にぎわいの場として親しまれることを目指し、平成28年度にはエスカレーターの設置及び再整備を実施するとともに、愛称を募集し「サンパレット」に決定しました。

平成29年度・30年度は、市民等の認知度向上及び今後の拡大した取組等を実施する際の課題把握を目的に、「サンパレットにぎわい創出社会実験」を実施しています。各部局と連携しながら、年間を通じてテーブルと椅子を配置した「オアシススペース」の実施及び各種イベントを行っています。

北口デッキリニューアル工事期間中はその補完的な役割も果たすとともに、平成30年度以降も多様な活用を予定しています。

(2) エリアマネジメント導入に向けた取組

藤沢駅周辺の活性化及び拠点性の継続・向上に向けては、にぎわい創出や魅力づくりに向け、整備後の運営・育成が重要であり、本市都心部としてのポテンシャルの向上及び継続性の観点から、官民連携したマネジメントの導入を見据えて、検討を行っています。

エリアマネジメント導入を見据え、平成28年度に地元経済団体や駅街区内の事業者等が参画した勉強会を立ち上げ、組織のあり方や運営方法などについて、先進都市の視察などを含め、調査・研究を行っており、北口デッキのリニューアルが完成する平成31年度からのエリアマネジメントの導入を目指します。

＜対象エリア（案）＞

藤沢駅街区内の公共空間を想定（藤沢駅北側：ペDESTリアンデッキ・サンパレット・地下通路、 藤沢駅南側：駅前広場＋デッキ 等）